

<発表資料>

- 社史・アーカイブ総合研究所 - 本文をまとめる「3つの方法」

本文に関しては、まとめ方として3つの方法を紹介しします（囲みを参照）。1冊の社史にすべての要素が必要だというわけではありません。それぞれのまとめ方には一長一短があるので、各社の事情に応じて選択してください。

①は会社の歩みを業界、社会、時代背景の中でとらえ、その足跡を明らかにするものです。しかし、会社全体の流れはわかりますが、各部門ごとの詳細な動きはわかりにくい点があります。各部門の詳細な動きまで記述しようとする、原稿量が多くなり、大部なものとなってコストも時間も大きくかかってしまいます。

本文をまとめる方法

①企業の足跡、全体の流れをまとめる

②テーマ別に足跡をまとめる

③部門別に足跡をまとめる

②は会社の歩みと業績を年次ごとではなく、テーマやプロジェクトごとにまとめます。特殊な社史で、記念誌に近い企画の仕方です。いくつかのテーマやプロジェクトに特化して経過をまとめるので、全体は二の次になります。

③は会社の歩みを全体ではなく、各部門、事業部ごとにまとめます。こちらも②と同様、各部門の経過はわかっても、会社全体の動きがわかりにくい点があります。そのため、大きな企業が②と③を採用する場合、①の全体の流れは別にまとめておく社史が多い傾向にあります。特に1冊目に出す社史は①の形態がほとんどだと思います。最初の社史は創業前からの通史としてまとめておく必要があるからです。

いずれにしても本文の構成を考える場合、まず詳細な年表を作る必要があります。それがある程度できたところで、構成の仕方について再度検討するのが妥当でしょう。年表から構成案を作る方法については、別途説明します。



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目8-8 アクロス新川ビル 4F
TEL 03-6824-9113 FAX 03-6824-9110 ✉ info@shashi-archive.jp 担当：鈴木

<https://shashi-archive.jp/>

No.00056

2023年5月25日

(本資料使用上の留意点について)

本資料は当社が独自に収集したデータを基に作成しております。その正確性と最新性の確保に努めていますが、完全性を保証するものではありません。調査、分析、統計処理等によってその都度データを更新する場合があります。当資料の内容に関するいかなる間違い、不掲載についても一切の責任を負うものではありません。資料に示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。利用に際しては御自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。その他、当資料の取り扱い事項は当研究所の会員規約に準じます。

(著作権について)

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。
当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

- 組織情報 -



ビジネスのDNAを次世代に伝える

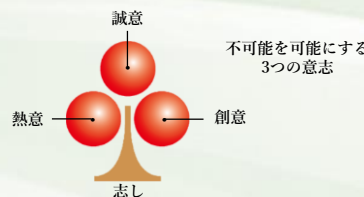
出版文化社

【代表者】
代表取締役社長 木戸清隆
【創立】
1984年2月6日
【資本金】
99,234,300円

【東京本部】
東京都中央区新川1-8-8
アクロス新川ビル4F
TEL：03-6823-6820（代）
【大阪本部】
大阪市中央区久太郎町3丁目4-30
船場グランドビル8F
TEL：06-4704-4700（代）
【名古屋支社】
名古屋市熱田区五本松町7-30
熱田メディアウイング3F
TEL：052-990-9090（代）

Learning Organization

豊富な実績を基に多様な社史・記念誌づくりを提案します。
編集は自社内で一貫して行っています。
専門家＝アーキビストが常駐しています。
品質管理、情報セキュリティのISOを取得している日本唯一の出版社です



-社史とアーカイブに関する日本初、唯一のシンクタンク-



社史・アーカイブ総合研究所

CORPORATE HISTORIES AND ARCHIVES RESEARCH INSTITUTE

社史・アーカイブ総合研究所は『社史・記念誌の有効活用と、ビジネス・アーカイブの普及への貢献』という大きな目標を掲げ、2019年に設立した専門研究機関です。社史とビジネス・アーカイブに関する情報の収集、コンテンツの企画と発信を行っています。

運営組織 社史・アーカイブ総合研究所
英文 Corporate Histories and Archives Research Institute
代表者 小谷允志
設立 2019年10月1日
研究員数 10名（東京6名・大阪4名）